国際交流センター通信27

東京家政学院大学
国際交流センター

International Exchange Center

Tokyo Kasei Gakuin University International Exchange Center

UNHCR（国連難民高等弁護官事務所）学校パートナーズ

難民映画「シリアに生まれて」上映会報告

2018年11月、千代田三番町、町田の両キャンパスにおいて「シリアに生まれて」の上映会が開催されました。UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）学校パートナーズとしての開催です。

上映会では、心身に傷を負い、家族を失い、受け入れを拒否され、落ち着き先が見つかるまで移動し続ける子ども達の姿を両キャンパス159人が真剣に見つめました。上映後アンケートには「今まで知らなかったことが恥ずかしい」「難民問題は大きく、私の力は小さい。出来るだけのことを少しずつでもやっていきたい」「私たちにはあまり関係のないことだと思っていたが、世界中で問題にすべき」などの感想が寄せられています。

町田キャンパス上映会には、UNHCR Japanの職員の方もご参加下さり、シリアの現状および私たちに何ができるかについてお話し下さいました。

尚、上映会では両キャンパスの募金箱に16,832円が集まり、UNHCRの難民支援活動に寄付しました。ご協力ありがとうございました。

▲ 千代田三番町の様子

▲ 町田の意見交換会

新しくなった外国語絵本展報告

2018年11月22日（木）～12月21日（金）、町田キャンパスの東京家政学院大学附属図書館、千代田三番町キャンパスの大江記念三番町図書館で「外国語絵本展」が開催されました。今回は、いたばしボローニャ子ども絵本館との連携により、合計23か国の絵本を展示することができました。中には、ラオス、アラブ首長国連邦、ベネズエラで出版されたものなど、日本から遠く離れた国の珍しい絵本があり、来場者からは「国によって絵や雰囲気が違って面白い」「それぞれのお国柄を感じさせる絵とストーリーで楽しめた」「主役の動物がその国独特」といった声が聞かれました。中国からの留学生の2冊の「おすすめ絵本」も好評でした。

▲ 千代田三番町の様子

▲ 町田の「おすすめ絵本」

本学が目指す国際交流

1. 他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。
2. 自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。
3. 国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。
4. 本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。
5. よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見いだし、実行していくことができる。

前期活動予定

■国際交流センター“バザー100円市”開催

［町田キャンパス］
4月5日（金）11:00～15:00
集団給食実習食堂（旧第一食堂）にて

［千代田三番町キャンパス］
6月16日（日）ローズ祭
※場所等の詳細はローズ祭パンフレットにて

■海外協定校への留学説明会
両キャンパスとも4月25日（木）12:20-12:50
（4面参照）

■国際交流パーティ
［町田キャンパス］5月中旬
［千代田三番町キャンパス］後期

■短期交換留学生修了セレモニー
［町田キャンパス］7月下旬

未定の情報は追って掲示板等でお知らせします。

東京家政学院大学の海外協定校 本学から現地校へのプログラム紹介

■中国
吉林外国語大学（吉林省長春市）
・短期交換留学
・中国語＆中国文化短期研修

■韓国
釜山女子大学校（釜山広域市）
・短期交換留学
・文化交流プログラム　※要推薦/選抜あり
韓南大学校（大田広域市）
・短期交換留学
・韓国語＆韓国文化短期研修

■アメリカ合衆国
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
・短期交換留学
・アメリカの言語と文化短期研修

■タイ
コンケン大学（コンケン市）
・調査・研究

4月25日（木）に協定校への留学説明会を開催します。
（4面参照）

国際交流センターの活動についてもっと知るには

国際交流センターの活動詳細は、東京家政学院大学ホームページでご覧頂けます。

東京家政学院大学ホームページ
↓
付属機関・地域連携
↓
国際交流センター

第12回外国語スピーチコンテスト報告

2018年12月8日(土)、町田キャンパスで外国語スピーチコンテストが開催されました。このスピーチコンテストでは、日本の学生も留学生も自分の母語以外の言語でスピーチをします。

今年の英語暗唱部門のテーマは、"Nobel Peace Prize speech by ICAN campaigner, Hiroshima survivor Setsuko Thurlow" "Severn Suzuki" "Women's Rights Are Human Rights"の3つでした。どれも国際社会で活躍する女性のスピーチです。

また、日本語弁論部門では、留学生がそれぞれの思いや考えを日本語でスピーチしました。テーマは「私の夢」「日本で暮らして考えたこと」です。出場者の熱意が参加者全員に伝わり、その後の質疑応答も活発に行われました。結果は以下の通りです。

◇英語暗唱部門
優勝　鄭　宇凡
準優勝　須藤　陽花
敢闘賞　井上　明日香
◇日本語弁論部門
優勝　劉　依萌
準優勝　梁　群力
敢闘賞　黄　運梅、趙　越、劉　雨桐、鄭　宇凡、葉　雨昕、高　岩、張　夢晨
◇保護者会会長賞　梁　群力
◇保護者会副会長賞　須藤　陽花、黄　運梅

その後は地域サポーターの方々や留学生による中国語教室の受講生の皆さま、そのご家族・ご友人の方々も一緒にクリスマスパーティーが開催されました。様々な年代のメンバーからなる6つのチームに分かれてのクイズ大会が行われましたが、富士山や東京タワーの高さ、日本で人気のアニメに関するクイズは、日本に来て間もない留学生も負けていませんでした。国際交流センターの活動を支えてくださる地域の方々、保護者会の方々に感謝の気持ちとともにご報告をいたします。

◀ 熱のこもったスピーチ

クリスマスパーティのゲーム ▶

私たちのキャンパスは多文化共生社会

東京家政学院大学には現在、中国および韓国からの留学生がいます。留学生は、一緒に学ぶ仲間であると同時に、日本語以外の母語を持ち、日本以外の文化圏からやって来た人々-つまりキャンパスに異文化を運んでくれる人達です。

言語チューター（中国語）を通して大の仲良しに！

◀ 新宿御苑にて
(左)湯さん(右)須藤さん

人間福祉学科4年(2019年3月当時)の湯承晨さんと生活デザイン学科3年(同)の須藤陽花さんは、2017年度後期に言語チューター制度（4面参照）を通して出会いました。最初は発音と簡単な文法から始まった勉強会も、少しずつ会話の量が増え、中国の若者文化の話をしたり、中国の歌を一緒に歌ったり。結局2018年度後期まで、同じペアで3学期間勉強しました。その間、一緒にご飯を食べに行ったり、ディズニーランドに遊びに行ったり、新宿御苑に寒桜を見に行ったりするなど、ふたりはすっかり仲良しに。湯さんは2019年3月に卒業を迎えましたが、8月にはふたりで上海旅行を計画中とのこと。ふたりの仲はこれからも続きそうです。

☆インタビュー☆彡

Q1 なぜ中国語チューターをやろうと思ったのですか？
＜湯さん＞中国語を教えるのに興味があったのと、日本人学生と交流したかったからです。
＜須藤さん＞語学に興味があったのと、留学生と交流したかったからです。他の人と違ったことに挑戦してみたい、学生のうちしかできないチャンスを逃したくないという気持ちもありました。

Q2 中国語チューターをやって良かったことは何ですか？
＜湯さん＞陽花ちゃんという大切な友達ができたことです。陽花ちゃんは、国際交流センターのイベントにも参加してくれるようになり、他の留学生とも仲良くなってくれて嬉しかったです。
＜須藤さん＞中国語が学べただけでなく、中国にも興味を持つようになりました。留学生と仲良くなって休日に遊びに行くようになったことも良かったです。湯さんとは、8月に上海で一緒に遊べるのをとても楽しみにしています。

キャンパスで気軽に国際交流

わざわざ飛行機に乗らなくても、キャンパスで国際交流が可能です。せっかくのチャンスを逃さずに異文化体験してみましょう！

留学生はどこにいる？

ここにいます。自分の所属学科にいる方は声をかけてみましょう。いないけど交流したい方は出会いの制度をご利用下さい(4 面参照)。

				1年		2年		3年		4年		計
				中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国	
大学院		一般		2								5
		吉林外国語大学から	短期留学生	3								
大学	生活デザイン学科	一般		9	1							17
		吉林外国語大学から	3年次編入生							2		
			短期留学生					2		1		
		釜山女子大学校から	短期留学生				1					
		韓南大学校から	短期留学生				1					
	児童学科	吉林外国語大学から	3年次編入生					1				1
合計				23								

※2019年3月18日現在のデータ。4月時点で変更の可能性があります。

留学生はこんな活動もしています

2019 年 1 月 29 日（火）に本学の中国人留学生 10 名と横山第一小学校 6 年生が交流授業をしました。

授業は、留学生がパワーポイントを使って中国についてのクイズをするところから始まりました。知っているようで知らない問題に、6 年生達は驚いたり感心したり、大いに盛り上がりました。

クイズの後は、小グループに分かれてお互いの国のことや生活について質問し合うコーナーです。子ども達は、留学生が自分のふるさとを紹介する時に中国の広さにびっくりしたり、自分の名前を中国語で読んでもらったのをメモしたり、中国人に直接教えてもらう「中国」を味わっていました。「中国の小学生は朝何時に学校に行くのか」「中国で有名な日本のアイドルは誰か」「中国で一番おいしい料理は何か」などの質問もたくさん出て、活発な、そして楽しい交流となったようです。

◀ クイズ
「友好の印に日本が
中国に送った動物は？」

短期交換留学生修了セレモニーも開催

2019 年 1 月 28 日（月）、大学院短期交換留学生修了セレモニーが行われました。この度修了を迎えたのは、中国吉林外国語大学からの黄運梅さん、趙越さん、劉依萌さん、劉雨桐さんです。地域の方々にもお越しいただき、4 人の門出を祝いました。

修了生が参加したホームステイのステイ先からは、修了生の親切で礼儀正しい様子に感動したとのご報告があり、修了生を通した国際交流がとてもよい形で行われている様子も窺えました。修了生のこれからのご活躍をお祈りします。

乾杯！ ▶

私の異文化・海外体験　第6回

忘れません・・・イギリスでの思い出

井澤　尚子（現代家政学科）

私の数少ない海外体験の中に、イギリスでのホームステイがあります。記憶を紐解いていくと、それは 30 年程前の体験です。

1989 年の夏、友人に誘われ旅行社が企画する「英語を学ぶホームステイの旅」に参加し、イギリスに旅立ちました。滞在したのは、イギリス・イングランドのウェスト・ミッドランズ州にあるコヴェントリーです。コヴェントリーは中世の街並みを色濃く残し、大聖堂や Lady Godiva（ゴダイヴァ夫人）伝説で有名な都市です。ここで、2 週間の英語研修とホームステイが始まりました。

ホームステイでは、友人とは別々のお宅にお世話になりました。私のホストファミリーは、70 歳代のご夫婦二人だけのご家族でした。まず忘れられないのは、毎日の朝食です。English breakfast といわれる伝統的な食事をいただきました。ミルクティー、シリアル、卵料理・ベーコン・ソーセージ・ベイクドビーンズ・トースト、自家製デザート（タルト、ケーキ）などが記憶に残っています。デザートには、庭の果物が使われていたようです。後に友人に聞くと、若い共働きのご夫婦がホストファミリーの場合は、日本と同じような洋食の食事だったようです。時間に余裕があり、年を重ねたファミリーにお世話になったからこその体験だったと思います。また、ホームステイはお客様ではありませんから、食事の後片付けなども手伝いました。事前学習で、イギリスでは水やお湯は貴重であり、日本のようには使えないということも学んでいきました。やはり食器を洗う時などは、そのことを実感しました。また、それは洗濯やシャワーにもつながる話です。海外であることを強く感じた体験でした。

ホストファミリーのご夫婦は夕食後、週に 2 ～ 3 回ほどサークル活動にでかけるのが日課でした。私はホストマザーから、「Shoko、私たちが帰って来たら、ミルクティーを淹れてね。」と頼まれていました。その準備をし、午後 9 時頃からいただく、ミルクティーとビスケットの味がいまだに忘れられません。毎回、それほど美味しく感じられたのです。

全ての予定を終了し、友人と別れ、帰国するまでの２日間を、一人ロンドンで過ごしました。ロンドン市内の B&B に一人で宿をとり、市内の美術館・博物館を訪れました（今考えると、旅行経験も少ない私が、なぜそんなことができたのか不思議です）。不安や緊張があったことは事実ですが、２週間の体験が少しだけ自信になったのかもしれません。

そして、私は無事ロンドンを後に帰国の途につきました。しかし、この後“ある出来事”があったのです。この続きは、「また機会があったら・・。」ということにします。

▲ コヴェントリーの Lady Godiva 像

▲ English breakfast（イメージ）

さまざま大募集（本学学生対象）

新しい春に国際交流の花を咲かせましょう！

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国フロリダ州にあるFlorida International Universityで日本語を学ぶ学生とメール交換しませんか。使う言語は「日本語」でも「英語」でも「両方」でも大丈夫。アメリカに友達をつくるチャンスです。

申し込み先：学務グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月24日（水）

留学生と日本人学生との出会い

「日本語会話パートナー」という制度で、留学生と日本人学生が出会う機会を提供しています。どのように交流するかは自由。これまでは週に1度一緒に「おしゃべりする」「ご飯を食べる」というところから始めたペアが多かったようです。テレビやネットでは分からない新しい文化に出会うチャンスをお見逃しなく！
申し込み先：学務グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月24日（水）

英会話を楽しむ

「英語サロン」で、マーク・ルイス先生と英会話を楽しみませんか。自分のペースで参加可能です。レベルも問いません。リラックスした楽しいサロンですので、お気軽にお越し下さい。

◇開催日時・場所
【町田キャンパス】
水曜日12：20～12：50　図書館1階にて
4月17, 24日／5月8, 15, 22, 29日／6月5, 12, 19日

【千代田三番町キャンパス】
金曜日12：20～12：50　1404にて
4月19, 26日／5月10, 17, 24, 31日／6月7, 14, 21日

申し込み不要。直接会場へどうぞ。

海外協定校に留学する

本学学生である皆さんは、協定校である吉林外国大学（中国・長春市）、釜山女子大学校（韓国・釜山広域市）、韓南大学校（韓国・大田広域市）、カリフォルニア州立大学モントレーベイ校（アメリカ合衆国・カリフォルニア州）、コンケン大学（タイ・コンケン市）に短期留学等ができます。前期の留学説明会を以下の通り開催しますので、興味のある方は是非ご参加下さい。
【町田キャンパス】
4月25日（木）12：20～12：50
1204教室にて
【千代田三番町キャンパス】
4月25日（木）12：20～12：50
1706教室にて
申し込み不要。直接会場へどうぞ。いずれのキャンパスでもお昼ご飯持参OKです。

学生同士で中国語・韓国語・日本語を学ぶ

中国語や日本語を学びたい学生が、それらを母語とする学生と1対1で勉強する「言語チューター」という制度です。「教える人」「習う人」の両方を募集します。ただし、2019年度前期は町田キャンパスのみの実施となります。
◇中国語
＜習う人＞ 本学学生であればどなたでも
＜教える人＞中国語母語話者の本学学生
◇韓国語
＜習う人＞ 本学学生であればどなたでも
＜教える人＞韓国語母語話者の本学学生
◇日本語
＜習う人＞ 本学学部1・2年生の留学生
＜教える人＞日本語母語話者の本学学生

申し込み先：学務グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月24日（水）

国際交流会で活動する＆iecpalになる

◇国際交流会とは
会員同士の交流を図るとともに、国際交流のイベント等を企画・運営する学生の会です。楽しみながら国際交流をしませんか。

申し込み先：学務グループ（申し込み用紙あり）
申し込み期間：随時受付

◇iecpal（アイイーシーパル）とは
登録しておけば、国際交流のイベント、ニュースなどがメールで送られてくるシステムです。

申し込み先：iec@kasei-gakuin.ac.jp
申し込み方法：件名を「iecpal」とし、本文に氏名と学籍番号を記して下さい。メールは大学gmailに送ります。

International Exchange Center
発行・編集
東京家政学院大学　国際交流センター
〒194-0292 東京都町田市相原町2600 TEL 042-782-6908
センター通信 第27号　2019年4月1日
大学HP https://www.kasei-gakuin.ac.jp/